

事業名	担当課	判定	判定内容
地域福祉バス利用助成事業	福祉課	内容改善	継続前提。目的を整理し、目的に基づいた調査を実施するほか、他の部署との連携を図ってより良い事業に変えていく。「政策研究所」とも有機的な連携を。利用パスへの変更やルートの変更を含めた改善を。
敬老祝金支給事業	福祉課	内容改善	コンセプトはよいが、根本的に形態を見直す必要あり。たとえば地域で使える商品券とすることで地域へ還元したり、町への寄付を可能にするなど工夫をする。この町に住んでいてよかったと思える内容に。
障がい者在宅援護事業	福祉課	継続	こういった政策は必要だが、個々の事務事業が有機的に働いているか、もう少し緻密に検討する必要がある。ニーズの把握にも努力する。本当に困っている人に、必要十分なサービスが行き届くようにしていく。
歴史民俗資料館管理運営・整備事業	文化財保護課	内容改善	継続前提。助成金や補助金に頼らざるを得ない事業なので、コストに関してしっかりとした視点をもっていく。人件費が適性かも見極める。またサービスの提供方法や、広報にも工夫の余地がある。
図書館資料購入整備事業	生涯学習課	継続	成果指標の設定を見直す余地がある。県内人口当たりの貸出冊数1位ということだが、どういった背景や要因でその結果が出ているのかを掴み、他の図書館事業とも有機的に連動して、事業の質の向上を進めていく。
公民館学習講座事業	生涯学習課	内容改善	指標の事業回数だけでは効果を測れない。どのような事業が住民の満足につながるのか検討する。企画運営については、住民や有識者の知恵を借り、協働でおこなっていく。大学との連携も視野に含める。

事業名	担当課	判定	判定内容
小中一貫教育推進事業	学校教育課	継続	本当にこの事業により不登校が改善されたのかを示せる指標を。また小中一貫教育による他のメリットも測り、示す必要がある。教員負担だけを求めるのではなく、保護者や地域の力との連携により、子どもたちを見守る必要がある。
三芳町立学校支援員配置事業	学校教育課	内容改善	三芳町に見合った成果指標への見直しを。また長期的な視点で効果を計ることが必要。町の予算による事業のため、三芳の目標に即して進めると効果的で、住民にも理解しやすい。
こども医療費支給事業	こども支援課	継続	拡充方向。「子育てしやすい町」といったシティプロモーションの一環となることも考えながら継続を。人件費についてはもう少し工夫の余地がある。また、子ども1人あたりにかかる医療費を示すなど、もう少しわかりやすい指標を。
公立保育所管理運営事業	こども支援課	民間活用	民間の活用も考えた継続。統計等を分析し、保育士(とくに臨時職員)の待遇なども考慮、改善しながら公立の良さを生かして継続していく。
学童保育室管理運営事業	こども支援課	拡充	様々な調査(ニーズや現状数値、他自治体事業)を行い、NPOや民間等の選択肢を含め、どのように拡充するかを研究し、進めていく。
妊婦健康診査事業	健康増進課	継続	相談業務と合わせてフォローをするなど、様々なアプローチを。子育て全般に関して他部署との連携を図り、トータルでどうしていくかを考えていく。

事業名	担当課	判定	判定内容
一般廃棄物収集運搬事業	環境課	継続	内容改善を含めた継続。業者に対するマネジメントを担当部署が上手く行き、工夫をすることでサービスの向上をはかる。委託料単価の算出方法の見直し、指標の見直しも検討する。
ごみ処理施設維持管理事業	環境課	継続	成果指標の内容を研究すべき。ごみ減量へのチャレンジを行う、低減目標として立てるとよい。業者との随意契約についても、町が主体的に管理し、事業効率を改善できる体制を考える。
消費生活相談事業	観光産業課	拡充	事業拡充も、内容改善の余地あり。ホームページという媒体に限らない広報活動を。潜在的な相談者への対応が増えるのはよいが、被害者が減るように、予防講座にも力を入れる。相談者による評価(フィードバック)についても研究を。
緑地保全事業	都市計画課	内容改善	拡充方向。みどりは三芳にとって大切なものとして事業に取り組んでほしい。広く町民の利益に帰する事業であるために、選定プロセスの透明性や、その後についても観察していくのが大切。地方債やトラストも検討を。「政策研究所」との有機的な連携を。